

# マレーシアでハラール倉庫

## PKTエブリー24ロジ

### 食品物流市場 シェア15%獲得へ



ダイセーエブリー二十四の田中孝昌社長（左端）とダイセーロジスティクスの永田会長（右から2人目）ら

ダイセーグループのマレーシア現地法人、PKTエブリー24ロジスティクスは18日、同国の首都クアラルンプールに開設した平屋建て倉庫の開所式を行った。日系の物流会社が運営する初の本格的な冷凍・冷蔵施設で、日系の大手コンビニエンスストアや外食企業などの業務を受託するとい

う。ダイセーグループが蓄積してきたノウハウやスキルを注ぎ込み、床面積が1千平方メートルのハラール倉庫として同日から稼働した。現地のPKT社と連携を図りながら、倉庫事業並びに配送事業を展開する。年内の黒字化を目指すほか、2017年1月からの

フル稼働を予定。車両は現在の3台を17台まで増車する構想で、日系の荷主企業や大手物流会社などの要請に対応する。売り上げは月間ベースで段階的に2千万円まで引き上げていく。更には、近い将来の増床も視野に入れており、行く行くは温度管理を伴う同国食品物流市場のシェア15%獲得を目標に掲げている。ダイセーグループの海外事業を担当するダイセーロジスティクス（ダイセーロジ、田浦辰也社長、東京都文京区）の永田勝志会長は「日系とローカルを問わず、新規のニーズを積極的に取り込む。開所式には日系の大手物流企業の方にも参加してもらったが、我々に対する期待の大きさをひしひしと感じている。その期待

に応えられるよう精いっぱい努めていく」と話している。

（沢田顕嗣）